



広報  
市民の友

第676号 毎月1回発行  
2007年(平成19年)

5月

発行●那覇市 編集●秘書広報課  
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号  
☎867-0111 ●印刷 株近代美術

市の人口と世帯	
※( )内はうち外国人 2007(平成19)年3月末現在	
総人口	314,920(1,982)
男	151,980(1,063)
女	162,940(919)
世帯数	129,789(1,162)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	93,047
真和志	105,052
首 里	58,001
小 碌	56,838

桃井恒和代表取締役社長(左から一人目)らに施設の説明をする翁長市長



## 球春は沖縄・那覇から

### 主な紙面

寒非桜の咲く2月、沖縄には、春季キャンプのためプロ野球8球団が集います。温暖な気候はスポーツ選手の体づくりに適しており、沖縄が誇るべき「オンライン」だと思います。

ただ、那覇市でキャンプを張る球団は無く、残念に感じていたのは私一人ではないと思います。

そのような中、奥武山野球場が平成22年に市営の本格的野球場として生まれ変わることになります。これは、県、防衛施設局など多くの関係機関のご協力の賜物です。

昔も今も子どもたちにとって、プロ野球選手は憧れの的です。私も王、長嶋選手の一挙手一投足に目を奪われたものです。

また、8球団の沖縄キャンプの経済効果が50億円余と試算されており、人気の高い巨人軍であれば、さらに大きな経済効果が期待できます。そのようなことも踏まえ、このたび、読売巨人軍の「那覇キャンプ」誘致のため、去る3月23日に正式に要請を行いました。

市や県の活性化と、明日を担う子どもたちの大きな夢のためにも、「那覇キャンプ」の実現を市民とともに取り組んでいきたいと思います。「球春は沖縄から」「球春は那覇から」というキャッチフレーズが定着する日も遠いことではないかもしません。

那覇市長 翁長雄志

助成金を活用してまちづくり  
那覇市立病院は地方独立  
行政法人への移行を目指します  
共生都市なはをめざして  
人・自然・地球にやさしい環境

6 4  
7 5  
8 2

### 巨人軍にキャンプ要請

寒非桜の咲く2月、沖縄には、春季キャンプのためプロ野球8球団が集います。温暖な気候はスポーツ選手の体づくりに適しており、沖縄が誇るべき「オンライン」だと思います。

ただ、那覇市でキャンプを張る球団は無く、残念に感じていたのは私一人ではないと思います。

そのような中、奥武山野球場が平成22年に市営の本格的野球場として生まれ変わることになります。これは、県、防衛施設局など多くの関係機関のご協力の賜物です。

昔も今も子どもたちにとって、プロ野球選手は憧れの的です。私も王、長嶋選手の一挙手一投足に目を奪われたものです。

また、8球団の沖縄キャンプの経済効果が50億円余と試算されており、人気の高い巨人軍であれば、さらに大きな経済効果が期待できます。そのようなことも踏まえ、このたび、読売巨人軍の「那覇キャンプ」誘致のため、去る3月23日に正式に要請を行いました。

市や県の活性化と、明日を担う子どもたちの大きな夢のためにも、「那覇キャンプ」の実現を市民とともに取り組んでいきたいと思います。

「球春は沖縄から」「球春は那覇から」というキャッチフレーズが定着する日も遠いことではないかもしません。

情報PACK

那覇市長 翁長雄志

助成金を活用してまちづくり  
那覇市立病院は地方独立  
行政法人への移行を目指します  
共生都市なはをめざして  
人・自然・地球にやさしい環境

6 4  
7 5  
8 2

協働のまちづくり  
那覇を紡ぐ



「協働」とは、まちづくりのために、市民・事業者・市民団体・行政などが、それぞれの特性を発揮しながら協力しあうことです。



学習支援の様子を視察する伊藝美智子助役(右)と翁長市長。

### 支援で子どもたちを温かく育む

また、学習支援ボランティアの上連天洋子さんは「ぜんそくやアトピーなどの理由で休みが多いお子さんは、なんら能力には問題ありません。私たちも、そういう子どもたち個々に応じた学習支援を行い、一人ひとりの子を見て回りました。

活動報告会で、翁長市長は「ボランティアで子どもたちの

学習支援、地域貢献に活躍されている姿は、私の掲げる「協働のまちづくり」の原点です。今後とも、更なる協働への取り組みに力を貸して下さい」と会員のみなさんを激励しました。

学習支援ボランティアは、未来の那覇を担う子どもたちを、温かく支援する新しい協働の形です。

また、学習支援ボランティアの伊藝美智子助役(右)と翁長市長は「ボランティアで子どもたちの

学習支援ボランティアは、未来の那覇を担う子どもたちを、温かく支援する新しい協働の形です。

伊藝美智子助役(右)と翁長市長は「ボランティアで子どもたちの

学習支援ボランティアは、未来の那覇を担う子どもたちを、温かく支援する新しい協働の形です。

本紙は「カラーバリアフリー(色覚障壁の除去)」につとめています。

お気づきの点がありましたらお寄せください。

☎862-9942 秘書広報課

R100 再生紙を使用しています。